

元気なまちかど

5 news 学校図書館リニューアル

図書室を学習に活用

学校図書館活用支援事業を利用した図書室のリニューアル作業が、8月18日、水口中学校で行われました。

同事業は、本を読むだけになりがちな学校の図書室を、本を使った学習の場としても活用できるようにするのが目的です。

ボランティア部や科学部、生徒会、保護者、学校職員などおよそ70人が作業を行い、1万2千冊もの本をラベルの分類に並べ直し、図書室は使いやすく生まれ変わりました。

二学期から多様な学習ができるようになった図書室の活用に、参加した生徒は期待を膨らませていました。



▲本を廊下へ運び出す生徒



▲恐る恐る魚に触る子どもたち

6 news 大野のこのこクラブ「野洲川で遊ぼう」

鮎のつかみどりに挑戦

子どもたちが休日にレクリエーションなどを楽しむ大野のこのこクラブと野洲川を愛する会が主催の、「野洲川で遊ぼう」が8月22日行われ、地元の小学生16人が参加しました。

この活動は野洲川を愛する会が大野のこのこクラブに河原のごみ拾いを依頼したことから始まり、今ではごみ拾いの他に魚の観察や鮎のつかみどりも行っています。獲った鮎はその場で塩焼きにしてみんなで美味しくいただきました。

子どもたちは「川の水が気持ちよかった」、「魚は苦手だけど、自分で獲った鮎はおいしく食べられた」と、川遊びを満喫した様子でした。

4 news

甲賀流おしるし道場に
にぎり寿司体験

小学生が地域の事業所でお仕事体験に挑む「甲賀流おしごと道場」が、8月17日から20日にかけて甲賀町の14カ所の事業所で開かれました。

未来を担う子どもたちと地域で頑張っている事業所を「お仕事体験」でつながることを目的として、商工会が今回初めて企画しました。

寿司屋でお仕事体験をした5人の子どもたちは、手にご飯がくっついた海苔が破けたりと苦戦しながらも、地域で働く寿司職人の技を見習い、仕事の難しさや楽しさを学びました。



▲初めてにぎり寿司に挑戦する子どもたち

1 news ミュージカル「青い目の人形」

平和の願いを込めて

ミュージカル青い目の人形が、8月8日と9日の2日間、忍の里プラザで上演されました。

このミュージカルは、昭和初期に日米友好の証として贈られた「青い目の人形」が今も市内の小学校に残されていることを題材にし、戦中、戦後の人々の暮らしや心の葛藤を描いた創作劇です。

3度目となるこの公演では、今年が戦後70年の節目の年であることから、甲南中学校の生徒が招待され、「平和学習」の一環としてステージを鑑賞しました。

出演者の水口中学3年生の宇留野花さんは「平和の願いを「戦争は嫌や」という台詞をとおして訴えたい」と舞台上に臨みました。



▲人形を巡って言い争う場面



▲手形や足形をつける子どもたち

たけのこ子育て広場の「手形で遊ぼう」が8月17日、たけのこ児童館で行われました。

この日は4組の親子が参加し、筆や道具を使わず手足に直接えのぐをつけて、絵を描いたり手形をつけたりして遊びました。

えのぐは口に入っても安全なように、小麦粉と食紅を混ぜ合わせたものを使っています。子どもたちはプニプニしたえのぐの感触も楽しみながら、手や足を使って大きな紙いっしょに思い思いの絵を描きました。

3 news

手形で遊ぼう
手足を使って楽しく自由

2 news 全国中学校体育大会出場激励会

全国の舞台へ挑む

全国中学校体育大会出場激励会が8月13日、甲南庁舎で行われました。

同大会には、男子走り高跳びに甲南中学校3年生のきたなかゆうや北中裕也さん、男子棒高跳びに土山中学校3年生のかなおかこうだい金岡功大さんが出場されます。

激励会では山本教育長が「高い目標をもって挑戦してきてほしい」と激励のこたばを贈りました。それを受けて北中さんは「自分らしい飛び方でよい記録をめざしたい」、金岡さんは「最高の舞台でベストを尽くしたい」と意気込みを語りました。



▲全国大会に出場する北中さん(左)と金岡さん(右)